

【全体概要】

- 仏花用組花の全ての花材を県産で生産するため、現在県内では市場出荷の無いリンドウ生産を推進
- 独自性のある加工用に特化した新規規格の切り花リンドウ産地を育成
- リンドウ栽培は、中山間地域等の比較的夏期冷涼な気候に適するため、獣害発生地域では簡易獣害防護柵を設置し普及

新品種・新技術等の概要

＜実需者ニーズに基づくリンドウの新規格＞

- ・仏花組花向け加工に特化した、実需者が求める効率的な加工用リンドウ新規格の設定
- ・加工用リンドウの生産出荷体制の確立
- ・夏期冷涼な中山間地域等でのリンドウ栽培の推進
- ・加工用リンドウに適した短稈多収品種の導入

＜獣害発生地域でのリンドウ獣害防止対策＞

- ・獣害に比較的強いリンドウの特性を利用し、獣害発生地域での簡易防護柵設置によるリンドウ栽培の導入
- ・発生獣種別による簡易防護柵「電楽くん」「楽落くん」の検証結果に基づく普及



電楽くん(高島市)



楽落くん(米原市)



加工適性評価および新規格決定

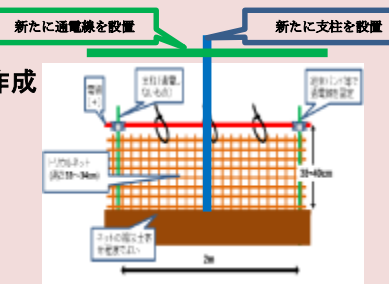
主な取組内容

＜リンドウの新規格効率生産出荷の確立＞

- ・市場流通向け加工用切り花リンドウの新規格の設定
- ・市場および実需者による既存品種の加工適性評価
- ・栽培実証試験による短茎多収栽培技術のマニュアル作成
- ・栽培面積拡大に向けた耐暑性新品種選定

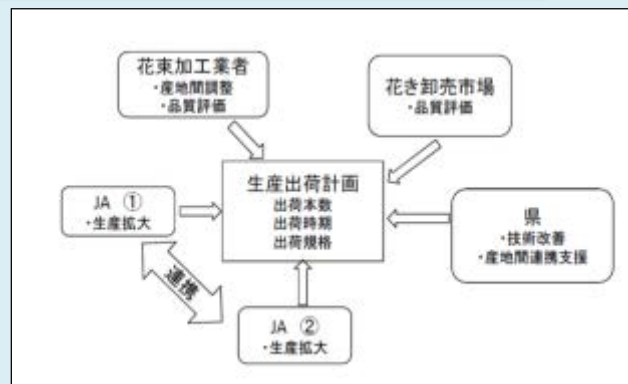
＜夏期冷涼な中山間地域でのリンドウ産地の育成＞

- ・獣害発生地域での簡易防護柵導入効果の検証
- ・簡易防護柵の普及に向けた設置基本マニュアル作成
- ・発生獣種に応じた簡易防護柵設置技術の改良



「楽落くん」のシカ対策

実施体制図



- ・JA間の連携による産地育成(県)
- ・花き卸売市場および実需による加工適性評価と、評価に基づく規格決定(JA)
- ・新規格に沿った栽培技術改善(県)
- ・広域栽培技術研修(県)
- ・新品種導入に向けた民間種苗業者との情報交換(県)
- ・生産および流通・加工の三者間の連絡調整機能の導入(県)

実績と今後の展開

- ①リンドウの栽培面積は、10a(H29)から40a(R1)に増加した。
- ②市場流通向け加工用切り花リンドウ出荷規格を設定できた。

規格	着蕾段数	切り花長	茎の太さ	脱葉	1束本数	1箱入数
60cm	4段以上	60cm	4mm以上	25cm	10本	150本(15束)
45cm	2段以上	45cm	3mm以上	20cm	20本	200本(20束)

- ③リンドウ産地早期育成に向け、加工用リンドウの目標切り花本数(15本以上/株)を早期に確保できる、当県に適した6品種を導入した。
- ④リンドウは野生獣による食害は受けにくい、侵入による踏み荒らし等の被害が発生する。これに対する「電楽くん」の防護効果は高かった。
- ⑤「楽落くん」は設置や撤去が容易で積雪地域には適している。リンドウの草丈が低い生育初期にニホンジカによる踏み荒らし被害を受けることがあるため、通電線を追加施工することで、効果を確認できた。
- ⑥獣種や出現度合いにより導入技術を選択し、中山間地域におけるリンドウ栽培をさらに推進していく。